

平成28年度 クループホームなはの事業報告（期間：平成 28 年 4 月 ～ 平成 29 年 3 月末）

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	結果値	実施報告
地域貢献 の視点	・認知症カフェの開催を行い地域に貢献する	毎月開催し参加者を募る	参加人数	1回5名	1回10名以上	・認知症カフェを毎月開催することができた。参加者はH28.9相生市広報掲載以降知名度も上がり10名程の参加があった。参加者からGH待機者はなかったが入所申し込み家族の参加があった。
収支 の視点	・待機者の確保	認知症カフェを通じ待機者も募る	待機者人数	年間8名	年間11名	・年間稼働率99.4%（年間入院件数4件 解約件数 1件 合計空床 45日間） ・嚥下体操は継続し行った。 ・光熱費に関して昨年度より増加しており特に電気代が昨年より高い。使用量も増えている。
		事業所に待機者の状態やGHの取り組みファイルを作成し伝える。				
	・稼働率の維持	散歩やレクを通じて筋力低下を防ぎ転倒を予防する	稼働率	98%	99.40%	
		口腔ケア嚥下体操を通じて肺炎を予防する				
	・経費削減	毎月の光熱費を確認し削減に努める	光熱費	年間5%削減	昨年度より増加	
利用者 の視点	・外出機会を増やし外部との関わりを持つ	外出や買い物機会を増やし近隣施設との合同行事を行う	行事回数	毎月1回	随時	・外出は定期的に行い、近隣施設との関わりは毎月1回障害者施設の訪問販売や保育所との合同お誕生日会の開催を行っている。 ・家族交流会は開設より初めて開催することができた。家族との関係や施設への理解を深めて頂ける機会となった。
	・家族交流会を開催する	家族交流会を開催し家族との信頼関係に繋げる	開催回数	年1回	H28.3開催	
業務プロセス の視点	・各マニュアルの見直し	緊急時のマニュアルなど地域に沿ったものを作成する	実施回数	年1回	1件災害時	・マニュアルについて水害や土砂災害など施設内での避難場所の確保や避難経路は確認しているが、地域を考えての細かいマニュアル作りが必要。 ・モニタリングは以前と変わらず6か月に1回にとどまっている。
	・モニタリングの見直し	ケアプランに沿ったモニタリングを行う	実施回数	2か月に1回	6か月に1回	
学習と成長 の視点	・研修を開催する	年間計画を作成し確実に実施できるようにする	実施回数	毎月1回	毎月1回	・必修研修については随時行う。研修資料を回覧で行うこともあった。 ・実践者研修への参加者はないが管理者研修1名参加。
	・今後のリーダー候補を養成する	外部研修へ参加する	習熟度愛	毎年1名	1名	